



近所・地域で協力しましょう!



CHECK 防災訓練で地域防災力を強化



町では、災害時に起こるさまざまな被害を想定し、町民参加型の防災訓練を毎年実施しています。

CHECK 自主防災組織の活動



各自治会には、自主防災組織があり、災害時に円滑な行動がとれるよう、避難行動訓練や炊き出し訓練などを行っています。

CHECK 防災士資格取得補助

災害に備え、地域で活躍する防災士を育成するための補助事業です。
詳しくは、町ホームページをご覧ください。



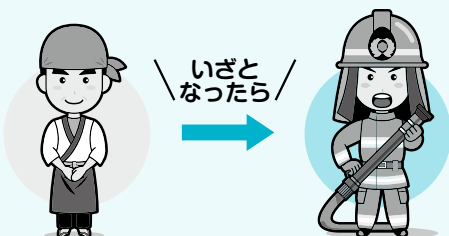
CHECK これが伊奈町消防団だ!

消防団とは

地域の安心・安全を守る消防機関の1つで、団員は別の仕事や生活と両立しながら、地域の火災や災害現場に駆け付ける「町の防災リーダー」的な存在です。

平常時は、災害に備えた訓練や地域の防火指導、広報活動、行事の警備などを行っています。

町では、第1分団～第3分団に計64名の団員が所属し、管轄地域を北部・中部・南部の3つに分けて、町全域を火災や災害から守っています。



あなたも仲間になりませんか?

「自分たちのまちは、自分たちで守る」この想いを持ちながら、多くの仲間が活動しています。未経験でも大丈夫! 女性や学生も活躍中です。

まちの安心をつくる消防団と一緒に活動しませんか?
詳しくは、町ホームページをご覧ください。

図 危機管理課 2284



▲町ホームページ



特集

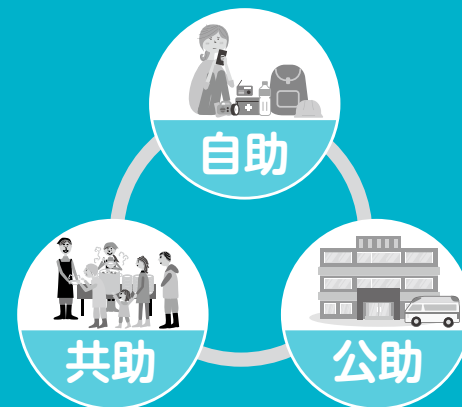
あなたの「備え」できていますか?



「小さな準備が、自分と身近な人を守る第1歩」



図 危機管理課 2282



災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。「まさか自分のまちで…」と思っても、台風や大雨、地震などの大きな災害が起こると、電気・水道・ガスなどのライフラインは停止し、物流も途絶え、いつもの生活が難しくなります。

災害時は、国や地方公共団体による「公助」だけではなく、一人ひとりが取り組む「自助」、そして地域や身近にいる人で助け合う「共助」の3つが連携することで被害を軽減することができます。

いつ起こるか分からない「もしもの時」に備え、自身や家族を守るために、今日できることから始めましょう。

消防団の気になる



Q 消防団はボランティアなの?

A 消防団員は、非常勤特別職の地方公務員であり、報酬が支給されます。例えば、火災出動などは8,000円、その他の活動は1,000円～1,500円が支給されるほか、年額報酬46,800円(団員)が支給されます。
※金額は活動時間や階級で、異なります。

Q 訓練や活動は毎回参加しないとだめですか?

A 仕事や家庭の都合で参加が難しい場合は、無理をする必要はありません。会社員や学生、自営業の方など、さまざまな方が入団しています。各個人の環境に合わせた活動が可能です。

Q 女性や学生で体力に自信がないけど、入団できますか?

A 入団できます。現場活動だけではなく、火災予防運動の広報や地域行事の支援活動など、さまざまな役割があります。自分に合った形で町の防災活動に貢献できます。